



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学国際社会学プログラム共催

第43回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

2018年9月21日(金) 16:30~18:30

講師: ザフラ・アリさん

(ラトガース大学専任講師)

Zahra Ali, Assistant Professor at Rutgers University

ポストコロニアル世界のイスラームと

Thinking Women and Gender in relation to Islam(s) in the Postcolonial World

女性・ジェンダー

2016年夏、ブルキナが「女性の奴隷化」を助長するとして禁止する自治体がフランスで相次いで話題になりましたが、このように現代社会でイスラームは「女性抑圧の宗教」と表象されがちです。しかし極端なイメージが先行する一方、イスラーム世界で生きる女性たちが権利拡大を目指して日々どのような戦いや実践を行っているのかについては十分に知られていません。米軍占領下のイラクで女性に聞き取り調査を重ねたザフラ・アリさんに、イラクの女性運動の事例を出発点に、イスラーム世界における女性とジェンダー、フェミニズムの現状と未来についてお話しいただき、「イスラーム」と「フェミニズム」の接続点と可能性について考えます。

講演は英語で行われ、逐次通訳がつきます。

ふるってご参加ください。予約は不要です。



■ 講師紹介 ■

社会学者、ラトガース大学専任講師。専門はイスラーム世界、中近東、特に現代イラクを中心とした戦争・紛争下における女性、ジェンダーと政治運動。また(ポスト)植民地主義とフェミニズムをめぐる認識論にも関心を寄せる。2015年フランス社会科学高等研究院に提出した博士論文を元にした単著 *Women and Gender in Iraq: between Nation-building and Fragmentation* (Cambridge University Press, 2018) のほか、編著に *Féminismes Islamiques* (La Fabrique, 2012)、*Pluriversalisme Décolonial* (Kimé, 2017)がある。

●司会: 森千香子さん(社会学研究科・准教授)

●会場: 一橋大学国立東キャンパス 第三研究館3階 研究会議室

●主催: 一橋大学大学院社会学研究科ジェンダー社会科学研究所(cgrass@soc.hit-u.ac.jp)

●後援: 新学術領域研究「グローバル関係学」(B03 文明と広域ネットワーク:生態圏から思想、経済、運動のグローバル化まで)、移民の参加と排除に

関する日仏研究会